

令和6年6月28日

各 位

日本ダイカストマシン工業会

第23回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナーのご案内
～ ダイカスト製造と設備に係る最新技術 ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当工業会では毎年ご高評を頂いております技術セミナーを関連業界団体様の協賛を得て今年度も開催することとなりました。

時節柄ご多忙とは存じますが、幅広い関係者の皆様のご参加をお待ち致しております。

敬具

・日 時 令和6年8月23日（金）10：00～16：30

・会 場 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館 6階66-67号室

<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/index.html>

・参加費 主催団体及び協賛団体会員 お一人様 15,000円（税込）

非会員 お一人様 20,000円（税込）

【協賛団体】（7団体）

（一社）日本ダイカスト協会、日本ダイカスト工業協同組合、（一社）日本自動車部品工業会、

（一社）日本鋳造協会、（公社）日本鋳造工学会、（一社）日本マグネシウム協会、

（一財）素形材センター

【主催】

日本ダイカストマシン工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館301 （一財）素形材センター内

TEL：03-6809-1509 FAX：03-3459-6911 メールアドレス：jdmma@sokeizai.or.jp

HP：<https://www.sokeizai.or.jp/pages/22/>

お問合せ受付時間 10:00～16:00（土日祝日休み）担当：木下、本間

= お申込の詳細 =

- 【日 時】 令和6年8月23日（金） 10:00～16:30
- 【参加費】 主催団体及び協賛団体会員 お一人様 15,000円（税込）
非会員 お一人様 20,000円（税込）
※参加費にはテキストと昼食が含まれます。
- 【定 員】 100名（定員に達し次第締切りとさせていただきます。）
- 【申込方法】 別添の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail または FAX にてお申込みください。
- 【申込締切】 令和6年8月7日（水）
- 【支払期限】 令和6年8月14日（水）
参加申込書の受付後に、請求書を郵送いたします。
銀行振込受取書をもって領収書に代えさせていただきます。
※請求書に記載のお振込み期限に間に合わない場合は、必ず振込予定日をご連絡ください。
- 【取り消し】 ①令和6年8月7日（水）以前にお取り消しのご連絡を頂いた場合は参加費を、振り込み手数料お客様負担にてご返金いたします。
②令和6年8月8日（木）以降のお取り消しにつきましては上記参加費の返金は出来ませんが、ご欠席の場合はテキストを後日送付いたします。

——— << お申込の流れ >> ———

1. 申込み用紙にご記入の上、E-mail(jdmma@sokeizai.or.jp) または FAX (03-3459-6911) にて事務局にお送りください。
↓
2. 申込受付後、請求書を郵送いたします。
※参加証の発行はございませんのでご了承ください。
※請求書が1週間以内に届かない場合は恐れ入りますがご連絡下さい。
↓
3. 請求書に記載してある指定口座に参加費のお振込み（振込期限は請求書に記載）
↓
4. 当日会場にお越しください。※指定席ではございません。
↓
5. 欠席の場合は後日テキストを郵送いたします。

第23回 日本ダイカストマシン工業会 技術セミナープログラム
— ダイカスト製造と設備に係る最新技術 —

日時：令和6年8月23日（金）10：00～16：30

会場：東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館 6階66-67号室

<プログラム>

| | | | |
|----|---|---------------------------------------|-------------|
| 1. | 開会挨拶 | 日本ダイカストマシン工業会 会長 武田 倫治 (UBEマシナリー株) | 10：00～10：05 |
| 2. | 支援施策の紹介 | 経済産業省 製造産業局 素形材産業室 | 10：05～10：15 |
| 3. | 需要動向 | 技術委員会 委員 山崎 政道 (株ヒシヌママシナリー) | 10：20～10：35 |
| 4. | 『環境に配慮したダイカスト技術』 芝浦機械株式会社 成形機技術部 営業技術課 アシスタントチーフ 中田 光栄 氏 | | 10：40～11：25 |
| | 【内容】 現在、ダイカストは自動車の軽量化ニーズに加え、製造過程を含む環境低減化の取組みや価格競争力がより一層求められている。一方、サイクルタイムの短縮は、消費電力量の削減や生産の高効率化が期待出来るため、今後ますます重要となっていく。例として、ダイカストマシンの駆動部の一部を電動方式に選択することでハイサイクル化が可能となっている。それに伴う環境負荷低減技術を取入れた製法と従来製法による品質比較を行い、その有効性について調査したので報告する。 | | |
| 5. | 『ダイカストマシンの電動化及び環境対応技術』 東洋機械金属株式会社 ダイカスト設計部 濱田 藍貴 氏 | | 11：30～12：15 |
| | 【内容】 当社はダイカスト工場のカーボンニュートラル達成に貢献するため、油圧駆動が一般的であるダイカストマシンの電動化を中心に技術開発を進めている。電動駆動は油圧駆動に対して省エネルギー、ハイサイクル、作動油削減において優位である。一方、射出の増圧構造を電動化した場合、 casting 圧力を多段階に可変できるといった特徴もある。そこで、これらの電動化について当社の電動ダイカストマシンを例に紹介する。また、その他の環境負荷低減技術についても述べる。 | | |
| 6. | 昼食 (60分) | | 12：15～13：15 |
| 7. | 『AIを活用したダイカストマシンの生産性向上と品質管理』 UBEマシナリー株式会社 技術開発本部 制御技術G グループ員 河原 慎 氏 | | 13：15～14：00 |
| | 【内容】 近年、ダイカスト業界において大量のデータを効率的に処理し分析することで、生産性の向上と品質管理の改善に向けた取り組みが活発化している。当社においても、大量のデータから関連性を分析し、瞬時に判断するというAI（人工知能）の強みを活かした技術開発を進めている。本講演では、AIを活用してダイカストマシンの異常予兆を早期に検知する機能と、良品状態を探索する品質管理機能について紹介する。 | | |

8. 『ギガキャストの動向およびダイカスト技術開発の取組み』

リョービ株式会社

14:05～14:55

ダイカスト企画開発本部 研究開発部 部長 新田 真 氏

【内容】

自動車の電動化が進む中、軽量化の要求が今まで以上に高まってきており、最近ではギガキャストと呼ばれる超大型ダイカスト品が注目されている。本講演では、ギガキャストのグローバルでの動向と電動化部品やボディシヤシー部品へのダイカスト適用に関する当社の技術開発について報告する。具体的には、積層造形による金型製作、製品の薄肉化や低抜き勾配化技術などを紹介する。

9. 休憩 (10分)

14:55～15:05

10. 『ダイカストの競争力と共創力

～クルマの未来とモノづくりの景色を変える～』

トヨタ自動車株式会社

15:05～15:55

モノづくり開発センター 素形材技術部 ダイキャスト技術室

主査 森川 将史 氏

【内容】

クルマのライフサイクル全体で2050年CN実現に向け、マルチパスウェイを軸に多様な選択肢を追求している。多様なニーズにお応えする中で、日本のモノづくりをささえる就労者人口の課題やクルマ・モノづくりへのサーキュラーエコノミーの期待値など大きな環境変化にも柔軟に対応する必要がある。はたらくヒト中心のモノづくりで工場の景色をどう変えていくか、これまで高い生産性を強みにモノづくりの発展に貢献してきたダイカストがどのように新しい価値を提供できるかを皆様と一緒に考えていきたい。

11. 閉会挨拶 技術委員会 委員長 波多野 和彦 (芝浦機械㈱)

15:55～16:00

12. 交流時間 ※講演終了後に会場を開放し、講師と受講者が自由に

名刺交換や質問ができる時間となります

16:00～16:30

以上